

日中活動の充実

予定表のホワイトボードを活用、利用者にも見える化し、療法士・職員が連携して円滑にリハビリを実施しました。これにより利用者の機能維持につなげることができました。また、職員間の連携の下、季節を感じられる壁画等の制作活動や花見等のドライブ、調理実習等みんなが楽しめる行事の提供に力を入れ、利用者からも「楽しかった」「美味しかった」の声が多数聞かれました。

コロナ禍で外出や楽しみが制限される中でしたが、季節に合わせた外出や行事、生きがい活動を実施し、できる範囲での日常生活の充実、活動の活性化に努めました。



みんなの青春フェスティバルの開催



コロナ禍になり、法人内の事業所同士でも集まる機会を持てずにいましたが、徐々に制限が解除されてきた今年度は秋祭りの代わりとして、法人内の利用者を招いて「笑顔かがやけみんなの青春フェスティバル」と題した大型イベントを開催しました。地域の飲食店が提供するキッチンカー、各施設の制作物の展示や販売、リハビリ機器の展示、日光猿軍団を招いての催し物の開催など充実した内容での実施ができました。利用者からも笑顔で「作品を飾ってよかった」「キッチンカーで食べたいものが選べた」等の声が聞かれ、楽しい思い出となりました。

施設内研修

日々の支援の質の向上、職員としての倫理観や心構えを学ぶ機会として、施設内での研修を強化しました。看護師からは緊急時の対応・誤嚥時の対応・服薬の重要性などの研修、介護職員や療法士からは介助をする上での技術や知識に係る研修、虐待防止委員会からは権利擁護や接遇・マナー・虐待防止に関する研修を行いました。



次年度に向けて

- ◆ 次年度も継続して多くの利用者が楽しく参加できる工夫をして集団活動を実施し、利用者の心身の機能維持・向上に努めます。また、個別や小集団での外出を通して、季節を感じたり、購入する楽しみを提供します。
- ◆ 地域交流を目的とした秋祭りの実施、社会参加班の小学校での公演活動等を通して、コロナ禍でできなかった地域との交流を再開していきます。
- ◆ 支援の質の向上や専門知識を学ぶ機会を作り、職員全体のスキルアップを目指した研修を行います。